



Incredible India

Namaste India 2013 日印交流と親善のために

インドへの航空券が300円割引で当たる!! 提携 AIR INDIA

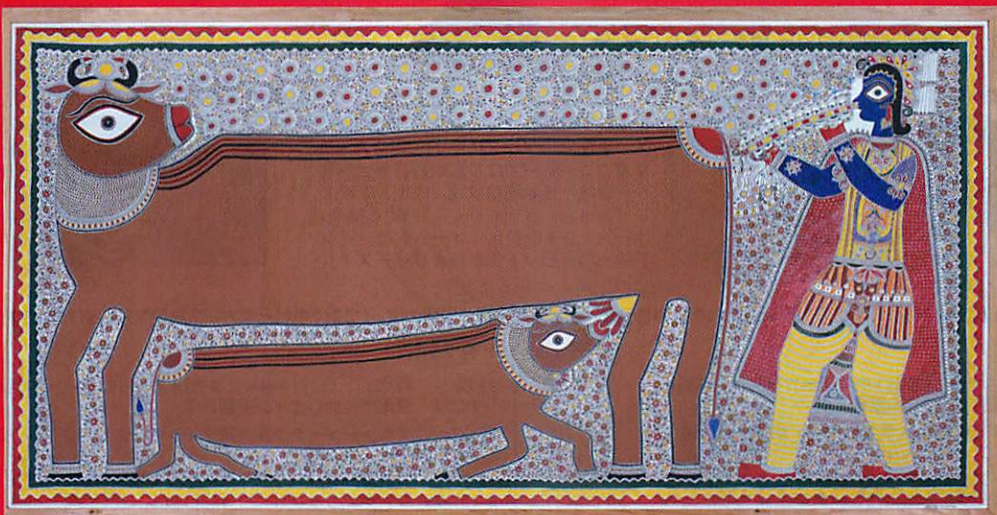
日本最大級のインド・フェスティバル



ナマステ・インディア 2013

ナマステ・インディアはインドと日本の相互理解を深めるための文化交流イベントで、今年で21回目になります。

今年のナマステ・インディアは、公益財団法人日印協会創立110周年の祝賀として開催いたします。



9/28 sat・29 sun
入場無料

開場 10:00 AM ~ 8:00 PM
(9/29は ~ 7:30 PMまで)

会場 **東京都代々木公園イベント広場**
Place Tokyo Yoyogi Park

JR山手線・原宿駅(徒歩8分)、小田急線・代々木八幡駅(徒歩8分)
メトロ千代田線・代々木公園駅(徒歩5分)又は明治神宮前駅(徒歩5分)
JR渋谷駅又はメトロ渋谷駅(徒歩20分)



共催：インド大使館/ナマステ・インディア実行委員会/インド政府観光局

NPO法人日印交流を盛り上げる会

後援：外務省/東京都/日印経済委員会/日本商工会議所

東京商工会議所/公益財団法人日印協会

協力：インド文化芸術評議会(ICCR)

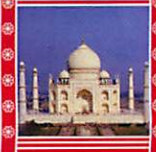
助成：アイヌ古式舞踊(ステージ)：(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構

特別協賛：特定非営利活動法人 世界芸術文化振興協会

お問い合わせ

NPO日印交流を盛り上げる会 TEL 025-752-2396
ナマステ・インディア実行委員会 TEL 090-6943-1406
(当日のみ)

www.indofestival.com



ステージ 延べ300名近いインド文化を担う全国の著名なダンサー・音楽家によって、様々な舞踊や音楽が紹介されます。

●ICCR 派遣ゴティプア



インド7大古典舞踊の一つオリッシーの源流といわれるゴティプア舞踊は、オリッサ州の伝統舞踊。オリヤー語で「ゴティ=独身」、「プア=少年」という意味を持ち、女性の衣装を身につけた少年たちによる踊りです。ゴティプアの中で最も有名な舞踊は、バンダ・ヌリトッヤと呼ばれる「武術のような高度な技を持つ純粋舞踊」というアクロバットのような動きやポーズをとる踊りです。踊り手は、6～7歳のまだ身体が柔らかいうちに訓練を始め、何年も訓練を受けます。踊り手として適用するのは18～20歳位までとされています。

●アイヌ古式舞踊



北海道で初めて無形文化財に指定された平取アイヌ文化保存会による公演。

アイヌ本来の

姿を留めつつ、固有の文化を保存・伝承している。

知る・学ぶ 今年は新しく文化ゾーンを設けました。

●象の広場



ナマステ・インディアの Mascot になった張りぼての親子象がまた登場します。お父さん VARUN、お母さん MEENAKSHI、子ども JAI と VEENA

●(公財)日印協会創立110周年記念展

1868年の明治開国から日本の近代化を担った大隈重信、渋沢栄一の両氏は、長岡護美子爵と1903年日印協会を設立。日印協会の設立とその後の歩みは、今日の日本の礎を築く道の一つでもあった。戦後ネルー首相が日本の子どもたちに寄贈した象の話など、協会ならではの写真等が展示されます。

●日本ヴェーダータ協会 日印交流特別展示会



日印交流の橋渡しで活躍した、スワミー・ヴィヴェーカーナンダ生誕150周年を記念した特別展示会が行われます。日本画の巨匠岡倉天心との絆をはじめ、スワミー・ヴィヴェーカーナンダの貴重な写真や本がたくさん公開されます。

●フォークアーティストの広場

インド政府派遣アーティストの公開制作 (予定)

●菩提僊那ハウス、●アイヌハウス、●チャダハウス 他

●ナマステがお勧めするインフォメーションハウス



松本榮一写真展「仏陀の道」、東映アニメ・手塚治虫原作「仏陀2」、忍者ハットリ君のコーナーでは手裏剣遊びやヒンドゥー語版・日本語版放映、「2013年秋より『きつと、うまくいく』『恋する輪廻 オーム・シャンティ・オーム』他、インド映画の大ヒット作が続々リリース!」

●インド旅行



インド政府観光局、エア・インディアや旅行会社などが出店。旅行の新情報が入手できます。

●セミナー・ハウス

東西哲学に深い造詣を持ち、日本の思想を牽引された故中村元氏が始められた真の学問の場 (公財)中村元東方研究所研究所・東方学院が企画・運営。

9月28日

- 12:00～ 高柳 さつき (公財)中村元東方研究所研究員
『十牛図』— 悟りの階梯
- 13:00～ 山口 泰司 明治大学名誉教授・東方学院講師
近代インドの哲人たち
- 14:00～ スラップサリ アーユルヴェーダ カウンセラー
アーユルヴェーダ入門ワークショップ
- 15:00～ 吉村 均 (公財)中村元東方研究所研究員
仏教における浄土の観念について
- 16:00～ 貝沢 耕一 アイヌ文化保存会(アイヌ古式舞踊)ワークショップ
16:30
- 17:00～ 佐々木 一憲 (公財)中村元東方研究所研究員
おもてなしの宗教— ヒンドゥー教
- 18:00～ スラップサリ インド古典舞踊バラタナーティヤム舞踊家
マハーバーラタ舞踊劇
19:00

9月29日

- 12:00～ 林 慶仁 (公財)中村元東方研究所研究員・東方学院講師
日本で花開いたインド論理学
- 13:00～ アミッシュ・ダラル 東京インド・カラオケグループ
14:00
- 14:00～ 貝沢 耕一 アイヌ文化保存会(アイヌ古式舞踊)
ワークショップ
- 15:00～ 田中 公明 (公財)中村元東方研究所研究員・東方学院講師
16:00 MANDALA
- 16:00～ Sikil Vasanthakumari (講師)、R. Suchitra (舞踊実演)
17:00 インド古典舞踊バラタナーティヤム舞踊家
的場 裕子 東方学院講師・日本女子体育大学名誉教授 (通訳と解説)
バラタナーティヤムの振り付けと音楽
～レクチャーデモンストレーション～
- 17:00～ 奈良 修一 (公財)中村元東方研究所研究員・東方学院講師
18:00 日本仏教におけるインドの影響

インド料理・レストラン・ショッピング

- インドのワインや紅茶、高級サリーからリーズナブルなものまで、豊富な品揃え。インド物産のお店には、掘り出し物も豊富。
- ヨーガやアーユルヴェーダをあつかうお店、インド雑貨・ビデオ・DVDなどインドの物産や多様なお店が勢揃いする一大マーケットが出現。



その他

- インド関係の団体、草の根、NGO、NPO等が参加。

野外ステージプログラム

9月28日

- 11:00 ~ 11:30 オープニング・セレモニー関係
- 11:45 ~ 12:05 あぶさら
- 12:05 ~ 12:20 Esraj + Tabla
- 12:20 ~ 12:30 小田切淳子
- 12:30 ~ 12:50 「プラーナ」インド古典舞踊研究会
- 12:50 ~ 13:05 モールシンズ
- 13:05 ~ 13:20 ボリウッドダンス アンジェラ
- 13:20 ~ 13:35 RgDanceshala
- 13:40 ~ 13:55 北インド古典音楽シェーナユニット
- 13:55 ~ 14:10 スパイス侍インターナショナルボリウッドダンス団
- 14:10 ~ 14:25 ASHIRBAD School of Kathak Dance
- 14:25 ~ 14:40 イグ・エスニックジャズダンス・アンサンブル
- 14:40 ~ 14:55 ミワカノンウィズアブサラス
- 14:55 ~ 15:05 Tara・Padam
- 15:05 ~ 15:20 サヘリーア
- 15:20 ~ 15:30 岡埜桂子
- 15:35 ~ 15:55 抽選会
- 15:55 ~ 16:10 ヌリッティヤ ラクシャナ ジャパン
- 16:10 ~ 16:25 インド舞踊サナトクマラ
- 16:25 ~ 16:45 コンテンポラリー ナティヤム カンパニー
- 16:45 ~ 17:00 NagaVardhani
- 17:00 ~ 17:15 板倉リサの Bollywood workout 「Nachlo!」
- 17:15 ~ 17:30 アイヌ文化保存会(アイヌ古式舞踊)
- 17:30 ~ 17:50 カンナギ印度古典舞踊団
- 17:50 ~ 18:10 みやびカタックダンスアカデミー
- 18:15 ~ 18:40 ICCR 派遣タブラー Pt.Lalit Kumar Dixit
- 18:40 ~ 19:00 インド人演歌歌手 チャダ
- 19:00 ~ 19:30 ICCR 派遣 ゴティブア

9月29日

- 10:20 ~ 10:35 KKA・Tokyo JAPAN
- 10:35 ~ 10:50 アビナヤラボ(パーカッションアンサンブル)
- 10:50 ~ 11:05 Natasha Arora
- 11:05 ~ 11:20 PIO JIO (ムービーダンス)
- 11:20 ~ 11:40 鼓遊(和太鼓)
- 11:40 ~ 12:10 インドIT講演
- 12:10 ~ 12:25 INDODANCEGROUP
- 12:25 ~ 12:35 Singer haru
- 12:35 ~ 12:50 Swastika
- 12:50 ~ 13:05 Shringar ボリウッドダンス
- 13:05 ~ 13:15 油谷百美
- 13:20 ~ 13:35 Yuki Indian dance company SAMPATTI
- 13:35 ~ 13:50 Sikkil Vasanthakumari & R. Suchitra
- 13:50 ~ 14:10 的場裕子・ウィーナの調べ
- 14:10 ~ 14:30 ナカカオリ デバダーラ オディッシー
- 14:30 ~ 14:45 大谷紀美子
- 14:50 ~ 15:10 カダムジャパン(カタック)
- 15:10 ~ 15:30 桐山日登美
- 15:35 ~ 15:55 抽選会
- 15:55 ~ 16:10 Sanjukta
- 16:10 ~ 16:30 coco 鮎美☆ Ethno-Exotica Vaudeville
- 16:30 ~ 16:50 エミ・マユリ& NMJ
- 16:50 ~ 17:10 アイヌ文化保存会(アイヌ古式舞踊)
- 17:10 ~ 17:30 インディアンクラシカルダンス トゥループ
- 17:30 ~ 17:50 丸橋実モヒニアタム舞踊団
- 17:50 ~ 18:10 安延佳珠子インド舞踊スタジオ
- 18:10 ~ 18:30 インド人演歌歌手 チャダ
- 18:30 ~ 19:10 ICCR 派遣 ゴティブア

私達もナマステインディアを応援します

Bryani & Tandoori BBQ

Khyber

タンドール料理 カイバル

Ginza 1-chome 03-5159-7610

Bank of India

Relationship beyond banking

祝 公益財団法人日印協会創立110周年

味と香りの調べを奏でる since 1981

印度料理シタール

千葉県千葉市花見川区
検見川町 1-106-16
TEL・FAX 043-271-0581
http://www.sitar.co.jp

State Bank of India Pure Banking. Nothing else.

With you - all the way

एअर इंडिया AIR INDIA

Incredible India

インド政府観光局
India Tourism, Tokyo

祝 公益財団法人 日印協会 創立110周年

今年のナマステ・インドの会場では日印協会創立110周年記念展としてブースを設け、日印協会の創立、草創期から今日までの歩みを歴史的な写真、パネル等で展示いたします。

インドと言えばお釈迦様の**仏教の教え**、そして**カレー**、象が思い浮かびますが、今日ではそれに世界的に高く評価されているインドの頭脳—ITソフトウェア産業が加わるといいます。

仏教で思うのは、2年前日本を襲った未曾有な出来事、東日本大震災で甚大な被害を受けた日本人の冷静な態度です。他の国ではあり得ないことと世界中の人々が驚嘆と敬意の眼差しをもって注目されました。そこには日本人の心の奥底にある仏教の影響が少なからずあると改めて思いました。

奈良の大仏は日本で3番目に多くの人々が訪れる観光地として有名です。752年(天平勝宝4年)東大寺の大仏が完成し、天皇、百官、1万人以上の日本人僧、歌舞・音曲の人々、他が見守るなかで開眼供養が行われました。この時、病弱の聖武上皇に代わり盧舎那仏の瞳に大きな筆をもって墨を入れたのが、記録上日本に初めて登場するインド人僧侶の**菩提僊那**(ぼだいせんな)だったということを知る人は多くありません。

昨年、日印国交樹立60周年記念事業として、インド政府が菩提僊那の歴史的事実に鑑み、太宰府に上陸した年から数えて1276年の時を経て東大寺にて奉納し、今年8月10日にも継承催事を行いました。

菩提僊那は聖武天皇の招聘で来日し奈良の大安寺に滞在、その場で華嚴をはじめとする多くの教学を先進的に展開、後の最澄や空海を生み出す土壌を育まれました。その意味で菩提僊那こそが、日本にインド哲学、文化を紹介した偉大な先駆者でした。

では、経済の日印交流の祖は近代になりますが、**渋沢栄一**氏だと思います。渋沢氏は日本資本主義の父と呼ばれ、設立・育成に関わった企業は約500にのぼり、社会公共事業は約600にのぼるといわれ、企業の利益と公益の調和を求めた実業家でした。また財閥を作らなかったことでも知られています。渋沢氏は、現在の早稲田大学を創立、2度にわたる内閣総理大臣、数次の外務大臣を務めた**大隈重信**氏と組んで日印交流の発展に尽くされたことで知られています。

そのお二人が1903年、**長岡護美子**爵(ながおかもりよし・初代日印協会会頭)と共に日印協会を創立したわけですが、翌年から始まった日露戦争の影響で、6年後に出された日印協会会報第一号の冒頭で大隈侯爵は次のように述べています。

「日本が支那及び印度から受けた文明の恩恵は非常なものです。物質上にも精神上にも、今日吾々が欧米の文明より受けつゝある利益に譲らざる大なる利益を日本に与えたのである。殊に印度は宗教や哲学や文学やの方面即ち精神上の方面に、我国人の受けたる思想は甚だ大なるもので、天竺即ち印度と云えば昔の日本人は直ぐに極楽即ち天国と思って居た程である。」

海外の安い綿花で生産された綿製品に国内市場を押えられ、買い求めたお金がすべて国外に流出してしまう。日本の工業化と貿易用の外貨の獲得は国運に関わる事でした。紡績の工場を建て安定した綿花の輸入は必須の事。当時主な綿花の輸入先の中国は欧米の列強に抑えられ、インドからの綿花供給は英国系の会社が船の配船を含め独占していました。そんな時、インド人の**J・N・タタ**氏は渋沢氏に綿花の安定供給を約束しました。タタ氏は、渋沢氏に言いました。「元来、インドは紡績事業においては日本と競争する立場であるが、大量に生産されるインド綿をインドだけで消費することはできない。もし日本で大いに紡績事業を進めるならば自分は綿花を十分に供給する、紡績業の方から競争はあろうけれども、それが為に日本に綿の原料を送らないで兵糧攻めにするというような狭い心は決してあっていない。両方お互いに助け合って進歩していったならば、この日印紡績の前途は綿花ばかりでなく、種々の点に於いて大いに有望であろう。」この言葉は、日印協会会報の第一号(1909年)に渋沢氏が寄稿した文です。それは36年以前を遡って書かれたものです。紡績業の組合ができて、日本郵船がボンベイとの航路を開き、タタ氏はインド側の窓口となりました。そこから日印の経済交流は飛躍的に拡大していきました。政治面からの大隈重信の役割も大きく、氏は日印協会の二代目会頭になっています。渋沢栄一氏は3代目会頭となり、そして今日の7代目会長**森喜朗**氏に至っています。

タタと言えばインドを代表する財閥として知られています。ナノという世界格安の車(20万円前後)を開発し、また一方世界の高級車メーカー ジャガーを買収して日本でも知られるようになりました。**R・D・タタ**が1918年、家族を連れて来日(11回目)。歓迎の宴で話をしました。「大隈・渋沢両閣下こそ日印貿易の端緒を作られたのである。回顧すれば28年前貴国より3名の視察員をインドに派遣せられたが、当時32俵の綿花を試みに日本に送った。今日においては1年に200万俵に近い数に上がっていることは、誠に感慨に堪えない次第である。」その席でタタ氏が提案した日本をもっと知るための商品館は、日印協会が外務省から委託され当時の産業・商業の中心地カルカッタに日本商品館という形で実現されました。その後、綿紡績業は関連産業と共に日本の主要な産業となりますが、その始まりは日印の交流にあったといえます。



日本の子供達に贈られたインド象インディラ
写真提供：インド大使館